

2018年度 第9回映画無料上映会「Mommy マミー」

代表 生産システム工学専攻 大坂祐瑛

ここ数年は2つの作品を上映しておりましたが、今回は選考の結果「Mommy」1作品のみの上映となりました。その分例年に比べても長い時間を感想会に充てることが出来たので、より多くの意見と情報を感想会の中で扱うことが出来たのではないかと考えています。

「Mommy」は重いテーマを扱った作品であったためか、難しかったという意見が多く見られました。しかしながら、発達障害を考えていく上で避けられない難解な課題に触れておいたという経験は必ず糧になっていると思います。答えを出す必要はなく、むしろ答えが無い課題を考え続けることが、発達障害を含む社会問題に向き合うことだと思います。そして、そんな難しい問題が一部の人たちだけに押し付けられている現状が、決して望ましいことでは無いことは、今回難しいと感じた参加者の皆様の共感を得られるところかと思っています。その共感が得られただけでも、大きな成果だったのではないのでしょうか。

感想会では多くの方が自分なりの目的を持って、積極的に参加してくださいました。また、関連した仕事をしている方など専門家の方も多くいらしており、専門的な知識や、専門家らしい認識と触れる機会がありました。当事者や関係者が悩んでいることは知られるようになってきていますが、専門家の方も現実と理想ことを知ることが出来ました。残念ながら、限られた時間の中では全員が言いたいこと全てを語ることはできませんでしたが、普段は聞けないような意見や、異なる立場の方の意見を聞くことによって、自分の中にある考え方や知見を見つめ直す機会を得た方も少なくなかったように思います。前期にはシェアリング研究会という形で意見交流の場を設けています。是非とも多くの方にシェアリング研究会にもご参加いただきたいと思います。

